

藤里町町制施行50周年記念事業報告書

共に創り 共に祝い 共に感動
この先50年たっても記憶に残



平成26年3月

藤里町町制施行50周年記念事業実行委員会

■ 委員長あいさつ

藤里町町制施行50周年記念事業実行委員会

実行委員長 佐藤 貴徳

思い起こせば今から2年前の6月27日に、どんな事業となるのか分からないまま、町長より委嘱状をいただきスタートした50周年実行委員会でした。事業の実施がまだ先の話という感覚もあったのか、なかなか事業内容やコンセプト等決まらず、この先大丈夫かなと正直不安になった時期もありました。しかしながら会議を重ねるごとに進行ペースも上り、各イベントの詳細部分に入り打ち合わせ会も頻繁に行われ、協力団体への調整等、実行委員会の活動も本格的になってきたように思えました。

年を越し、平成25年2月24日にプレイベント「ゆぎかましい」を開催しました。あいにくの天候にもかかわらず多数の町民が集まってくれ、このイベントがこの後の自信へとつながったように思います。

その後6月21日には地元学のキックオフミーティングを行い、秋の記念ウィークに向けた活動がスタートしました。また、翌日には、「50周年キャンドルナイト」を開催し、一つ目の記念事業を成功させることができました。

そして、記念事業のメイン事業である8月10日～11日「町フェスふじさと50祭」を開催し、炎天下の中、実行委員、ボランティア、商工会、役場職員、関係団体等が一つとなって事業の成功に向け汗を流しました。町民・町外からのお客様から「ありがとう。」「藤里もやればできるんだね。」等々励ましの言葉をいただき、大変で苦しかったですがやって良かったと、とてもうれしく感じました。

秋の記念ウィークでは、9日間にわたり「写真と映像タイムマシーンカフェ」、「おもてなしブース」の開催、「祝い餅まき」、「地元学成果発表会」、「記念講演」、翌週には「ふるさとがえり映画上映会」を開催しました。

こちらもたくさんの町民のみなさんが参加していただき、地域を振り返る時間を過ごせたのではないかと思います。

そして、2月3日には50周年最後の感動づくりイベント「ふじさとゆぎかましい」を開催しました。あいにくの天候でしたが、子供から大人までたくさんの町民のみなさんが参加してくれました。実行委員も人馬一体となり、おもしろく楽しく最後の記念事業を締めくることができました。

「たぶん簡単ではない、知恵を出し、汗をかき、自分も楽しみながらこの事業を成功させよう！」で始まった実行委員会でした。困難なことがたくさんありましたが、一つ一つ話し合いながら乗り越え、この1年8か月にわたり記念事業のコンセプト「共に創り 共に祝い 共に感動 この先50年経っても記憶に残る事業」を目指した活動は成功に終わることができたと思います。

また、この50周年事業は多くの町民・団体・関係機関の皆様から温かいご支援・ご協力をいただき実現することができました。

記念事業の終了に際しまして、町をはじめ関係各所の皆様、町民の皆様に感謝を申し上げますとともに重ねて心よりお礼申し上げます。

この活動がこれから10年、20年、50年たっても、町民そして実行委員の皆様の心に残り町のこれからの飛躍につながってほしいと思います。

■ 目次

◆実行委員会組織の沿革	1 p
◆記念事業概要	2 p
◆実行委員会活動状況	3～6 p
◆主な取り組み	7～23 p
1. 50周年キャンドルナイト	7 p
2. 町フェスふじさと50祭	8～11 P
3. 記念ウィーク	12～16 P
4. ふじさとゆぎかましい	17 P
5. 50周年広報活動	18～20 P
6. 実行委員会名簿	21～22 P
7. 関係機関・団体・協力者名簿	23 P



■ 実行委員会組織の沿革

庁舎内検討委員会

○平成23年5月 藤里町町制施行50周年記念事業庁舎内検討委員会発足

○平成24年3月 ・基本コンセプトの決定



記念事業実行委員会

○平成24年 5月 藤里町町制施行50周年記念事業庁舎内検討委員会発足

○平成24年 6月 ・第1回実行委員会開催

○平成25年 6月 ・藤里町町制施行50周年記念事業実行委員会

○平成25年11月 ・記念事業プランの決定

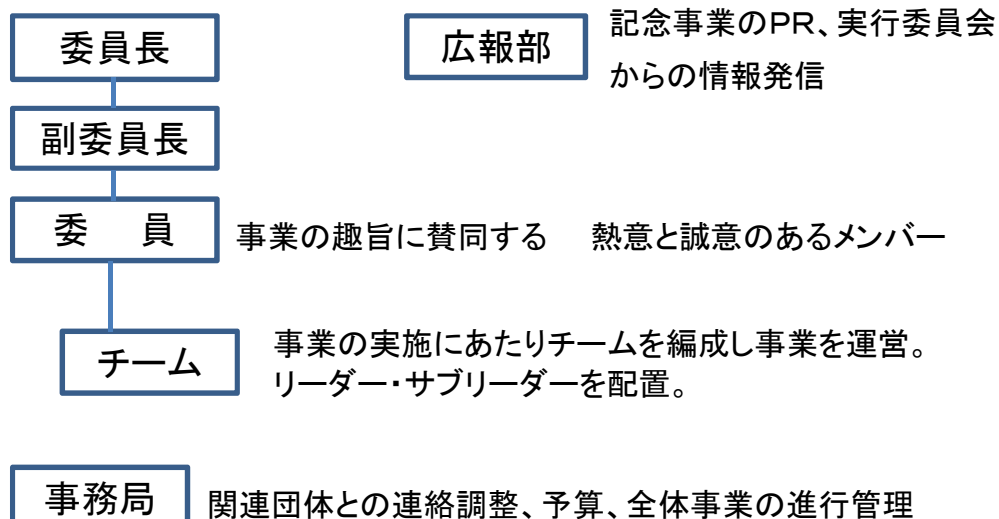


記念事業の実施に向けて活動



○平成26年3月 ・第30回実行委員会開催(事業報告会)

■ 実行委員会運営体制





■ 記念事業概要

(1) 記念事業の意義

藤里町は、昭和38年(1963年)11月1日に町制を施行しました。そして、平成25年(2013年)11月1日に町制施行50周年を迎えます。この大きな節目の年に、私達は、先人達が英知と努力の積み重ねによって築いてきた歴史を振り返り、先人達の礎に感謝するとともに、未来へのさらなる飛躍に願いを込めて、町のみんながひとつになれる記念事業を実施します。

(2) 基本コンセプト

- 歴史や伝統を築きあげた先人に感謝し
- 人と人のつながりを大切に、共に創り、共に祝い、共に感動し
- この先50年たっても記憶に残る
そんな事業を目指します！

(3) 事業の柱

- 町がひとつになる：多くの町民が交流し、藤里町がひとつになれる(共に、創る・祝う・感動)事業
- 未来につながるもの：10年後20年後さらには50年たっても町のみんなの記憶に残るような事業
- 歴史・伝統に感謝する：町の歴史・伝統を築きあげた先人に感謝しあゆみを残す事業

■ 開催記念事業

開催日	内 容	場 所
平成25年2月24日(日)	(プレイベント) ふじさとゆぎかましい	開発センター前 グラウンド
平成25年6月21日(金)	50周年キャンドルナイト ～ hug The earth ～	開発センター前 グラウンド
平成25年8月10日(土) 8月11日(日)	町フェス ふじさと50祭 第37回歩行者天国ふるさとまつり(商工会)と共催	役場周辺エリア
平成25年11月2日(土) ～ 平成25年11月9日(土)	【記念ウィーク】 ・11/2 町制施行記念式典 ・11/2 ふじさと地元学成果発表会 ・11/2 記念講演会 ・11/9 ふるさとがえり映画上映会、トークセッション ・11/2～9 写真と映像「タイムマシーンカフェ」 ・11/2～ 町民時計「みんなの笑顔」	開発センター 大ホール
平成26年2月2日(日)	冬のイベント「ふじさと ゆぎかましい」	開発センター前 グラウンド



■ 実行委員会活動状況

No.1

日 時		活 動 内 容		出席者
平成24年6月27日	(水)	第1回実行委員会	・委嘱状交付(29名) ・委員長、副委員長選任 ・記念事業の趣旨説明	27人
平成24年7月4日	(水)	第2回実行委員会	・事業案の提案	26人
平成24年7月11日	(水)	第3回実行委員会	・事業案の提案	25人
平成24年7月18日	(水)	第4回実行委員会	・事業案を絞り込む	25人
平成24年7月25日	(水)	第5回実行委員会	・事業案の補強	25人
平成24年8月1日	(水)	第6回実行委員会	・事業の決定(祭・文化企画事業)	22人
平成24年8月8日	(水)	第7回実行委員会	・日時、場所決定 ・事業のチーム分け	22人
平成24年8月11日	(土)	歩行者天国PR大作戦 ・PRブース設置(歩行者天国)50周年をPR		15人
平成24年8月22日	(水)	第8回実行委員会	・事業の内容をチームごとに検討	24人
平成24年9月4日	(火)	・リーダー会議		
平成24年9月12日	(水)	第9回実行委員会	・文化歴史企画を提案	24人
平成24年9月19日	(水)	第10回実行委員会	・事業を絞る	24人
平成24年9月26日	(水)	第11回実行委員会	・事業を決定	25人
平成24年10月10日	(水)	第12回実行委員会	・事業計画を作成	27人
平成24年10月20日	(土)	・PRブース設置(町民祭)50周年をPR ・B級グルメアンケート調査実施		10人
平成24年10月23日	(火)	・商工会へ協力依頼通知		
平成24年11月30日	(水)	第13回実行委員会	・計画の確認、事業タイトル決定…プラン完成	24人
平成24年12月4日	(火)	・商工会三役会議への説明		
平成24年12月12日	(水)	第14回実行委員会	・夏イベント実行体制	20人
平成25年1月7日	(月)	・リーダー会議		
平成25年1月17日	(水)	第15回実行委員会	・夏イベントスケジュール及びエリア調整	23人
平成25年2月13日	(水)	第16回実行委員会	・秋のイベントチーム編成 ・夏イベント進捗状況 ・プレイベントゆぎかましい	20人
平成25年2月18日	(月)	・商工会会員説明会		
★平成25年2月24日(日) プレイベント「ゆぎかましい」開催(80名)				80人



No.2

日 時		活 動 内 容	出席者
平成25年3月26日	(火)	・運営部打ち合わせ	
平成25年4月2日	(火)	・運営部打ち合わせ	
平成25年4月9日	(火)	・実行委員会戦略室事務所開き	
平成25年4月24日	(水)	・キャンドルナイト打合せ	
平成25年5月1日	(水)	・地元学・町民時計打合せ	
平成25年5月2日	(木)	・運営部打ち合わせ	
平成25年5月7日	(火)	・広報部打ち合わせ	
平成25年5月15日	(水)	・町民時計・地元学打ち合わせ	
平成25年5月21日	(火)	・食部門打ち合わせ	
平成25年5月22日	(水)	・踊り部門・運営部打ち合わせ	
平成25年5月23日	(木)	・広報部打ち合わせ	
平成25年6月5日	(水)	第17回実行委員会 ・キャンドルナイトスケジュール・任務分担 ・夏イベント進捗状況 ・地元学キックオフミーティング	44人
平成25年6月6日	(木)	・広報部打ち合わせ	
平成25年6月10日	(月)	・地元学打ち合わせ	
平成25年6月14日	(金)	・食部門打ち合わせ	
平成25年6月19日(水) 地元学オリエンテーション(場所:中学校)			
★平成25年6月21日(金) キャンドルナイト開催			300人
★平成25年6月22日(土) ふじさと地元学キックオフミーティング(130人) 【参加者】藤里中学校(全校)、藤里小学校(希望者)、秋田大学、秋田県立大学、国際教養大学、地元学メンバーほか			130人
平成25年6月26日	(水)	・食部門打ち合わせ	
平成25年7月3日	(水)	・運営部打ち合わせ	
平成25年7月4日	(木)	・うた部門打ち合わせ	
平成25年7月10日	(水)	・広報部・食部門・うた部門打ち合わせ	
平成25年7月12日	(金)	・地元学打ち合わせ	
平成25年7月17日	(水)	第18回実行委員会 ・夏のイベント全体会(1回目)	39人
平成25年7月24日	(水)	・うた部門打ち合わせ	



藤里町町制施行50周年記念事業

No.3

日 時		活 動 内 容	出席者
平成25年7月25日	(木)	・運営部・安全警備打ち合わせ	
平成25年7月26日	(金)	・踊り部門打ち合わせ	
平成25年7月27日(土)～28日(日) ふじさと地元学(秋田大学、国際教養大学) ・大学生8人、中学生31人、小学生4人、スタッフ13人			
平成25年7月29日	(月)	・リーダー会議	
平成25年7月30日	(火)	第19回実行委員会 ・夏のイベント全体会(2回目)	63人
平成25年8月1日	(木)	・地元学・うた部門打ち合わせ	
平成25年8月4日	(日)	・看板製作打ち合わせ	
平成25年8月5日	(月)	・リーダー会議	
平成25年8月7日	(水)	第20回実行委員会 ・夏のイベント全体会(最終)	123人
平成25年8月9日	(金)	・看板作製と設置作業	
★夏のイベント 平成25年8月10日(土)～11日(日) 町フェスふじさと50祭開催 (延べ5,500人) ※スタッフ 172人+婦人会			延べ 5,500人
平成25年8月16日	(金)	・地元学打ち合わせ	
平成25年8月17日(土)～18日(日) ふじさと地元学(秋田県立大学) ・大学生8人、中学生34人、スタッフ13人			
平成25年8月20日	(火)	・夏のイベント打ち上げ	
平成25年8月24日(土)～25日(日) ふじさと地元学(秋田大学) ・大学生8人、スタッフ12人			
平成25年9月4日	(水)	第21回実行委員会 ・秋のイベントスケジュール・役割分担	26人
平成25年9月7日 ふじさと地元学(国際教養大学) ・大学生6人、スタッフ3人			
平成25年9月13日	(木)	第22回実行委員会 ・秋のイベント事業内容強化	21人
平成25年10月1日	(火)	・運営部打ち合わせ	
平成25年10月2日	(火)	・写真と映像部打ち合わせ	
平成25年10月3日	(木)	・町民時計打ち合わせ	
平成25年10月7日	(月)	・運営部打ち合わせ	
平成25年10月11日	(金)	・広報部打ち合わせ	
平成25年10月16日	(水)	・町民時計・運営部打ち合わせ	
平成25年10月18日	(金)	・広報部打ち合わせ	



No.4

日 時		活 動 内 容		出席者
平成25年10月23日	(水)	第23回実行委員会	・秋のイベント当日スケジュール・作業分担	24人
平成25年10月28日 ～		・写真と映像部展示物製作作業		
平成25年10月30日	(水)	第24回実行委員会	・秋のイベント最終打合せ	24人
平成25年10月31日	(木)	・会場準備		
★秋のイベント 記念ウィーク				延べ
平成25年11月1日 (金)		記念ウィークオープニングセレモニー		1,387人
平成25年11月1日 (金)～11月9日 (土)		写真と映像タイムマシーンカフェオープン (延べ600人)		
平成25年11月2日 (土)		・記念式典開催 (100人) ・おもてなしブース、祝い餅まき (延べ200人) ・地元学成果発表会 (延べ200人) ・記念講演会 (350人)		
平成25年11月6日	(水)	第25回実行委員会	・秋のイベント (映画上映) 打合せ	22人
★秋のイベント 記念ウィーク				238人
平成25年11月9日 (土)		・鍋合戦 (約100人) ・映画上映「ふるさとがえり」、トークセッション (138人)		
平成25年12月18日	(水)	・運営部打ち合わせ		
平成25年12月18日	(水)	第26回実行委員会	・冬のイベントについて	22人
平成26年1月8日	(水)	第27回実行委員会	・冬のイベントについて	27人
平成26年1月16日	(木)	第28回実行委員会	・冬のイベントについて	24人
平成26年1月27日	(月)	・雪像チーム：雪像づくり開始		
平成26年1月28日	(火)	第29回実行委員会	・冬のイベント最終打合せ	38人
平成26年1月31日	(金)	・雪像チーム雪像づくり、雪山チーム雪山すべり台づくり		
平成26年2月1日	(土)	・会場準備		
★冬のイベント				延べ
平成26年2月2日 (日)		「ふじさとゆぎかましい」開催 (延べ500人)		500人
平成26年3月7日	(金)	第30回実行委員会	報告会 (ホテルゆとりあ藤里)	49人
◆実行委員会開催		30回 (延べ818人)		
◆部会等打合せ開催		49回		
◆地元学活動		5回 (延べ7日間 延べ271人)		
◆実施記念事業		6回 (延べ8,135人)		



■ 主な取り組み

1. 50周年キャンドルナイト

キャンドルに囲まれながら、一人ひとりがそれぞれの思いを胸に語らう静かな時を過ごしました。保育園・幼稚園・小学校・中学校の児童・生徒は、思いや願い・感謝の言葉などを書いた紙コップの行燈に灯をともしました。また、会場内で行われた商工会青年部の屋台コーナーも行列ができていました。このほか町内飲食店の協力のもと、各飲食店でこの日のみのサービス企画が実施されこちらも好評でした。

○実施日 6月21日(金)

○実施場所 藤里町総合開発センター前グラウンド

○来場者数 300人





2. 町フェス ふじさと50祭

50周年記念事業のメイン(シンボル)事業として食・歌・踊りの催しを役場前、藤琴メインストリート、グラウンドを会場とし町なかを回遊するイベントを実施しました。お盆などで帰省している町の出身者の方々も共に、50周年を祝い感動を共有し、藤里町がひとつになり、10年後20年後さらには50年たってもみんなの記憶に残るようなイベントを目指しました。また、伝統ある「第37回歩行者天国ふるさとまつり(町商工会主催)」と共催し、賑わいを創出しました。

○実施日 8月10日(土)、11日(日)

○実施場所 役場前商店街ストリート、藤里町総合開発センター前グラウンド

○来場者数 5,500人

(1) オープニング

役場前において、ふじさと50祭宣言、懸垂幕、くす玉開披、素波里貉によるよさこい(町民歌Ver)演舞などを実施しました。



(2) 郷土芸能披露「50周年鼓動の環」

町内外の芸能 団体による郷土芸能が披露されました。

JAあきた白神藤里支店、いとか藤琴店の協力のもとステージを2か所設置し躍動ある演舞等が繰り広げられました。

◆出演団体

- ・大沢壮士舞
- ・上若郷土芸能保存会
- ・志茂若郷土芸術会
- ・高山太鼓白神会
- ・素波里貉
- ・石川郷土芸能保存会
- ・小繋郷土芸能保存会
- ・team一舞人
- ・ヤートセ秋田酔楽天
- ・二ツ井恋舞
- ・祭姫會
- ・男鹿っ鼓





(3) ご当地グルメ屋台、郷土料理おふるまい、藤里夏の陣肉武将グルメ合戦

県内外からのご当地グルメを招致し全国有名グルメのほか町内グルメを堪能しました。

また、肉武将グルメ合戦では、町の特産のラム肉と白神牛を寸劇を交えながら、特産品のPRするイベントの実施や婦人会の協力のもと、町の山菜を活かした郷土料理のおふるまいを実施しました。

役場前メインストリートのご当地グルメ屋台では、地元グルメのほか県外からの人気グルメ店が出展しました。

◆出展団体

- ・横手焼きそば暖簾会(梟)
- ・十和田バラ焼きゼミナール
- ・北上コロツケ暖簾会(桜亭)
- ・宇都宮餃子会(味一番)
- ・男鹿のやきそばを広める会(寒風山観光株式会社)
- ・西目屋村ブナの里白神公社
- ・深浦町鶴田漁業
- ・男鹿市進藤冷菓
- ・藤里開発公社
- ・藤里町商工会青年部
- ・藤里町商工会女性部
- ・(株)白神フォレストコーポレーション
- ・ごん太
- ・ナガハマコーヒー
- ・ひまわり
- ・テレビアン
- ・花道
- ・藤里町連合婦人会





(4) ふるさと★ふじさとMUSIC FES.

藤里町総合開発センターグラウンドをメインステージとし、アーティスト4人によるライブ(ラジオ公開録音:ABS秋田放送)を実施しました。

◆出演者

高田由香

ティーナ・カリーナ

川嶋あい

つじあやの

※総合司会 清家アナウンサー(ABS秋田放送)

★公開録音 平成25年8月11日(日)16:00~18:30

★放送日 平成25年8月18日(日)14:00~15:00



(5) ストリートライブ(jazz演奏)

宝昌寺の協力のもと境内をステージとし、jazz演奏が行われ、Jazzの魅力を間近で感じられるステージを繰り広げました。

◆出演者

・つばさ with Special Band





(6) フィナーレ

婦人会を中心とした参加者総出の白神音頭の輪踊り、町民合唱団により町民歌の斉唱。そして最後は、50年ぶりとなる藤琴川河川敷からの花火打ち上げを行いました。

◆白神音頭をみんなで踊ろう

三世代交流館駐車場にやぐらを組み、やぐらでは高山太鼓白神会のメンバーによる軽快な太鼓打ちで、婦人会の皆さんが中心となって、大きな輪を作り会場の来場者みんなで白神音頭を踊りました。



◆町民歌をみんなで歌おう

「白神音頭をみんなで踊ろう」が終わると引き続き場所を開発センター前グラウンドメインステージに移し、町民合唱団の皆さんによる「藤里町民歌」の合唱が行われ、藤里町の風景や懐かしの映像と一緒に会場内に響きわたりました。



◆花火打ち上げ

「ふじさと50祭」の最後は、50年ぶりとも言われる藤琴川河川敷からの花火打ち上げを行い、藤里の夜空を飾りイベントを終了しました。





3. 記念ウィーク

50周年記念事業の秋のイベントとして、あゆみを残す事業を実施しました。

11月1日(金)の記念ウィークオープニングセレモニーを皮切りに、9日間にわたり行った「写真と映像タイムマシーンカフェ」、2日には、町主催の記念式典と「ふじさと地元学発表会」、「記念講演会」を実施しました。翌週には、地元食材等を活用した「鍋合戦」、映画「ふるさとがえり」の上映と林監督とのトークセッションが行われました。

○実施日 11月1日(金)～9日(土)

○実施場所 藤里町総合開発センター、三世代交流館

○来場者数 1,387人

(1) 記念ウィークオープニングセレモニー

11月1日(金)、テープカットとのろしの打ち上げで記念ウィークをスタートしました。
(藤里町総合開発センター前)



(2) 記念式典(町主催)

11月2日(土)、町制施行50周年記念式典が開催され50周年記念特別表彰などが行なわれました。(藤里町総合開発センター大ホール)





(3) 写真と映像タイムマシンカフェ

11月1日(金)～9日(土)、三世代交流館において、町民の方々から提供のあった懐かしい写真約500点をパネルに貼り出し展示しました。

カフェコーナーを設置し、カフェコーナーには、写真を見ながら語らう姿がたくさん見られました。



(4) 笑顔の町民時計

年間を通して、様々な町内の行事に町民時計チームがでかけ町民の皆さんの笑顔を撮りました。出来上がった写真は、フォトフレームに編集して町内施設やお店、銀行、農協、郵便局などに設置し公開しています。(～平成26年3月末)



(4) おもてなしブース、祝い餅まき

11月2日(土)、藤里町総合開発センター前広場において、町の特産品の販売や町内出展者による食のおもてなしブースの開催を行いました。また、開発センター2階ベランダより、祝い餅まきを行い、たくさんの町民の皆さんで賑わいました。



(5) 地元学成果発表会

藤里の新たな魅力・失われつつある資源(宝)を発見する「あるもの探し」、地域の”人”に光をあてた聞き書きを实践し、藤里の魅力を再発見しました。

6月のキックオフミーティングを皮切りにスタートした地元学は、藤里中学校全生徒と町内の一般の方から小学生までが参加しました。また、「外からの視点」として、秋田大学・国際教養大学・秋田県立大学の教授と学生29人が地元学に参加しました。

11月2日(土)には、藤里町総合開発センター大ホールにおいて成果発表会が開催され、それぞれのチームが「あるもの探し」の発表と「聞き書き」の朗読をしました。





◆成果

- ・あるもの探し 20作品
- ・聞き書き作品 30作品 ……別冊編集

【あるもの探し成果作品】

一部を掲載しています。全作品は、藤里町ホームページで紹介しています。

●ぴよっと散歩



●浅間神社



●熊の岱



●粕毛湧き水



●今と昔の遊び



●田中のいちよう・十六貫トンネル



●矢坂の水



●大沢賢人碑



●家屋分布





(6) 記念講演会

11月2日(土)、藤里町総合開発センター大ホールにおいて、劇作家・演出家であり女優の渡辺えりさんを迎えて「東北大好き～今だからこそ東北の心を全国に伝えたい～」と題して開催し、約350人が訪れ会場を埋め尽くしました。



(7) 鍋合戦

11月9日(土)、藤里町総合開発センター前広場において、夏の「藤里夏の陣 肉武将グルメ合戦」に引き続き「藤里秋の陣 鍋合戦」と題し、寸劇と2つの鍋の食べ比べを開催し多くの町民の方々が訪れました。



なんこ鍋 VS 50(ゴーマル)鍋

(8) 映画「ふるさとがえり」上映、トークセッション

11月9日(土)、藤里町総合開発センター大ホールにおいて、人と人の絆や地域を題材にした、映画「ふるさとがえり」を藤里町総合開発センター大ホールで上映しました。映画上映後は、林監督とのトークセッションが開催され、ふるさとへの想いを語り合いました。





4. ふじさとゆぎかましい

50周年記念事業最後のイベントとして、藤里町総合開発センター前グラウンドを会場として開催しました。馬そり運行、雪山ボウリング、屋台コーナーなどが催され、多くの町民が訪れてくれました。夜には、ケーキの雪像にキャンドルが灯され50周年を振り返りながら締めくくりました。

○実施日 2月2日(日)

○実施場所 藤里町総合開発センター前グラウンド

○来場者数 500人

(1) オープニング



(2) 冬なのにTUBE!? あ～ボウリング



(3) ホントに帰ってきた！馬そりふいぎ



(4) 50テント村



(5) 福を呼ぶ豆まき



(6) 宝さがし～ミカンに託した夢～



(7) なぞの雪像 with キャンドルナイト





5. 50周年広報活動

(1) ポスター



(2) チラシ



(3) のぼり



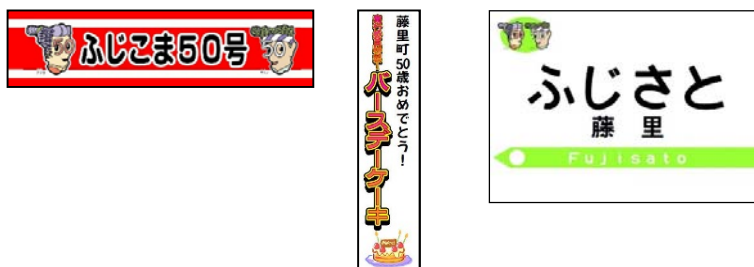
(4) 懸垂幕





藤里町町制施行50周年記念事業

(5) 看板等



白神時計台へのイベントPR看板の設置



キャンドルナイト



ふじさと50祭



記念ウィーク



(6)新聞・雑誌掲載

※把握できたものを記載しています。ご了承ください。

- ・広告 北羽新報 8月7日掲載(町フェスふじさと50祭)
- ・記事 北羽新報 平成25年1月1日掲載(50周年記念事業)
- 北羽新報 平成25年2月27日掲載(プレイベント「ふじさとゆぎかましい」)
- 北羽新報 平成25年6月22日掲載(キャンドルナイト)
- 北羽新報 平成25年6月23日掲載(地元学キックオフ)
- 北羽新報 平成25年8月14日掲載(町フェスふじさと50祭)
- 北羽新報 平成25年11月3日掲載(記念ウィーク:記念式典、祝い餅まき)
- 北羽新報 平成25年11月5日掲載(記念ウィーク:地元学成果発表会)
- 北羽新報 平成25年11月10日掲載(記念ウィーク:鍋合戦、映画ふるさとがえり)
- 北羽新報 平成26年2月3日掲載(ふじさとゆぎかましい)
- 魁新聞 平成25年6月22日掲載(地元学)
- 魁新聞 平成25年6月23日掲載(キャンドルナイト、地元学キックオフ)
- 魁新聞 平成25年7月2日掲載(実行委員長インタビュー)
- 魁新聞 平成25年8月13日掲載(ふじさと50祭)
- 魁新聞 平成25年11月3日掲載(記念ウィーク)
- 魁新聞 平成26年2月3日掲載(ふじさとゆぎかましい予告)
- 読売新聞 平成25年6月19日掲載(地元学)
- ・ABS秋田放送 平成25年8月9日(金)15:50 「エビス堂☆金」
- ・ABSラジオ 平成25年8月9日(金)14:15 委員長電話出演
- ・フェイスブック
- ・町ホームページ

(7)50(ゴーマル)通信の発行



第1・2号合併



第3号



第4号



第5号





6. 藤里町町制施行50周年実行委員会委員名簿(五十音順)

No.1

	氏 名 (ふりがな)		地区名	備 考
1	浅 利 幸 明	(あさり こうめい)	下 町	副委員長
2	安 部 幸 子	(あべ さちこ)	矢 坂 上 野	
3	安 部 里 美	(あべ さとみ)	鳥 谷 場	
4	淡 路 憲	(あわじ けん)	上 町 第 一	
5	淡 路 高 江	(あわじ たかこ)	東 坂	
6	淡 路 睦	(あわじ むつみ)	下 モ 町	
7	淡 路 裕 子	(あわじ ゆうこ)	上 町 第 二	
8	石 岡 ヒ デ	(いしおか ひで)	下 モ 町	
9	市 川 譲	(いちかわ ゆずる)	鳥 谷 場	
10	市 川 玲 子	(いちかわ れいこ)	川 原 町	
11	石 田 郁	(いしだ いく)	琴 町	
12	市 川 ま な み	(いちかわ まなみ)	出 戸 小 比 内	
13	伊 藤 孝 年	(いとう たかとし)	大 町	
14	桂 田 京 子	(かつらだ きょうこ)	粕 毛 下 町	
15	桂 田 浩 樹	(かつらだ ひろき)	谷 地	
16	桂 田 良 子	(かつらだ りょうこ)	浅 間 町	
17	加 藤 明 子	(かとう あきこ)	熊 の 岱	
18	加 藤 大 輔	(かとう だいすけ)	熊 の 岱	
19	加 藤 治 門	(かとう はるひろ)	熊 の 岱	
20	菊 地 健 一	(きくち けんいち)	中 町	
21	桐 越 陽 介	(きりこし ようすけ)	清 水 岱	
22	児 玉 真 美 子	(こだま まみこ)	愛 宕 第 一	
23	小 森 和 子	(こもり かずこ)	上 中 畑	
24	小 森 奈 緒 子	(こもり なおこ)	巻 端 家	
25	小 森 ヒ ト ミ	(こもり ひとみ)	上 中 畑	
26	小 山 弘 貴	(こやま ひろき)	粕 毛 下 町	
27	小 山 雅 章	(こやま まさあき)	粕 毛 上 町	
28	斎 藤 栄 作 美	(さいとう えさみ)	下 根 城	
29	斎 藤 孝 子	(さいとう たかこ)	愛 宕 第 一	事務局
30	齋 藤 拓 志	(さいとう たくじ)	川 原 町	
31	齋 藤 智 哉	(さいとう ともや)	川 原 町	
32	齊 藤 優 子	(さいとう ゆうこ)	根 城 岱	
33	齋 藤 賢 人	(さいとう よしと)	朝 日 ケ 丘 団 地	



No.2

	氏 名 (ふりがな)		地区名	備 考
34	櫻 田 尚 吾	(さくらだ しょうご)	幸 町	
35	櫻 田 秀 春	(さくらだ ひではる)	粕 毛 下 町	
36	櫻 田 有 季 江	(さくらだ ゆきえ)	大 町	
37	佐 々 木 英 樹	(ささき えいき)	浅 間 町	
38	佐 々 木 鏡 子	(ささき きょうこ)	巻 端 家	
39	佐 々 木 吉 昭	(ささき よしあき)	下 町	副委員長
40	佐 藤 貴 徳	(さとう たかのり)	荒 町	委員長
41	鈴 木 拓 也	(すずき たくや)	浅 間 町	
42	田 代 滋 穂	(たしろ しげお)	下 町	
43	館 岡 静 香	(たておか しずか)	矢 坂 上 野	
44	田 村 泰	(たむら やすし)	商 工 会	
45	東 郷 里 花 子	(とうごう りかこ)	下 根 城	
46	土 佐 知 弘	(とさ ともひろ)	湯 の 沢	
47	中 嶋 智 哉	(なかじま ともや)	出戸小比内	
48	中 村 臣	(なかむら しん)	寺 沢	
49	中 村 美 咲	(なかむら みさき)	寺 沢	
50	夏 井 翔 太	(なつい しょうた)	矢 坂 下 町	
51	夏 井 靖 子	(なつい やすこ)	矢 坂 下 町	
52	成 田 怜 紗	(なりた れいさ)	愛 宕 第 一	
53	成 田 有 紗	(なりた ありさ)	愛 宕 第 一	
54	新 川 泰 道	(にいかわ たいどう)	荒 町	
55	新 川 妙 子	(にいかわ たえこ)	荒 町	
56	藤 田 信 子	(ふじた のぶこ)	上 町 第 二	
57	藤 原 弘 章	(ふじわら ひろあき)	大 町	
58	細 田 早 希 子	(ほそだ さきこ)	東 坂	
59	細 田 知 希	(ほそだ ともき)	上 町 第 二	
60	松 岡 友 子	(まつおか ともこ)	(室 岱)	
61	三 谷 剛 史	(みつや たけひと)	荒 町	
62	水 戸 一 美	(みと かずみ)	川 原 町	
63	武 藤 秀 幸	(むとう ひでゆき)	粕 毛 上 町	
64	村 岡 信 裕	(むらおか のぶひろ)	下 町	
65	村 岡 ユ キ	(むらおか ゆき)	川 原 町	
66	山 田 麻 世	(やまだ ませ)	浅 間 町	



7. 関係機関・団体・協力者名簿

■ 協力して下さった方々(順不同、敬称省略)

小山 博行	石井 祥子	佐々木 信	安部 美穂	淡路 雄平
夏井 将俊	石岡 敏彦	佐々木 潤子	田中 麻留子	安保 孝輔
藤原 美貴	安保 周麻	佐々木 悠	夏井 沙耶佳	佃 智裕
鈴木 美里	佐々木 香奈子	佐々木 文香	細田 直子	石岡 邦子
市川 和孝	村岡 加奈子	米沢 美佳	斎藤 直子	石岡 寿子
村岡 小夜子	安部 多貴子	櫻田 麻衣子	細田 加奈子	櫻田 博
淡路 武	浅利 七恵	清水 咲美	小林 望	斉藤 孝子
細田 定	佐藤 則子	安保 直美	秋林 拓美	加藤 晃子
石田 三四治	夏井 美智子	市川 久美子	山谷 紗保	石岡 タイ子
佐藤 昇	市川 富士美	淡路 梓	市川 奈津子	淡路 睦子
小森 近	山田 幸喜	石岡 賞子	三谷 美保子	佐々木 みどり
淡路 一義	茂呂 利通	安部 さやか	市川 みね子	市川 江里香
飯坂 孝蔵	成田 翔	細田 孝広	藤田 明理咲	三谷 左諸理
佐藤 譲	夏井 圭介	福司 存成	田中 文雄	藤田 未祐
小山 三郎	田中 裕也	斎藤 ひろみ	成田 茂孝	佐藤 優人
淡路 忠二	佐々木 仁志	小山 恵里子	村岡 徳一	小山田 隼人
淡路 昭芳	児玉 淳一	桂田 昌子	齋藤 紗夢	尾形 拓也
三浦 一生	菊池 洋吾	市川 睦美	臼井 正行	加藤 優大
佐藤 章功	加藤 祐也	石岡 若奈	細田 誠	チェン・ホー・イエン
根本 学	市川 裕太	淡路 佳子	佐々木 立資	菊池 美穂子
武田 素	淡路 学	佐々木 和繁	佐々木 由資	小山 久美子
藤田 真由子	淡路 博之	夏井 博文	小山 裕輝	佐藤 匠
村岡 陽子	明石 雄吾	佐藤 咲起子	土佐 憲夫	佐藤 大夢

■ 協力して下さった団体(順不同、敬称省略)

-team-舞人	(株)白神フォレストコーポレーション	NPO法人ふじさと元気塾
祭姫會	ナガハマコーヒー	お菓子工房 えすぼわーる
二ツ井 恋舞	産直あさひ会	白神山地特産品センター
ヤートセ秋田 酔楽天	居酒屋 ごん太	株式会社 アルビオン
素波里 貉	トレビアン	藤琴郵便局
上若郷土芸能保存会	花道	白神木工房
志茂若郷土芸術会	ひまわり	藤見屋
石川郷土芸能保存会	JAあきた白神	かもや食堂
小繋郷土芸能保存会	レストハウス白神	田代食堂
大沢壮士舞	ABS秋田放送	第一観光バス株式会社
高山太鼓白神会	ライナーハウス	民宿 だまっこ屋
男鹿っ鼓	村岡電機	東北電力
横手やきそば暖簾会	幸和機械株式会社	荒川工業所
十和田バラ焼きゼミナール	(株)和火屋	NTTドコモ
北上コロッケ暖簾会	能代警察二ツ井交番	増田保険サービス
協同組合 宇都宮餃子会	交通指導隊	モードマサミ
男鹿のやきそばを広める会	総合警備保障株式会社	ココラボラトリー
ブナの里白神公社	株式会社 販促	共同印刷
鶴田漁業	有限会社鷹阿仁清掃興業	秋田大学
有限会社 進藤冷菓	土佐旅館	国際教養大学
藤里開発公社	湯元 なごみの湯	秋田県立大学
連合婦人会	農村環境改善センター	塩野米松先生
商工会青年部	藤里町のこどもを守る会	藤里小学校
商工会女性部	JA女性部	藤里中学校